

新井 洋会員「平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞」を受賞

新 井 洋 (あらい ひろし)

国土交通省国土技術政策総合研究所 建築研究部構造基準研究室 主任研究官

このたび、平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰（若手科学者賞）を受賞いたしました。このような栄誉ある賞を賜り、身に余る光栄に存じます。

受賞対象は「微動による地盤探査を用いた簡便な震害予測の研究」と題し、受賞者が近年、国内外の雑誌等に発表した論文10編（英文4編、和文6編）の内容を取りまとめたものです。

本研究では、微動の表面波的性質を最大限に利用して、地表1点のみの簡便な微動観測から地盤のS波速度構造を推定する画期的な方法を提案し、また、従来の同時多点微動観測による方法と併用することで、広域のS波速度構造を迅速に推定する実用的な手法を開発しました。さらに、これらの手法を地震被災地で適用し、推定地盤構造を用いた強震動再現解析、建物の被害率分布の推定を行い、地盤の1次元震動増幅特性の差異、とく

に地盤の非線形性による固有周期の延びを考慮しなければ、実際の強震動と建物被害を説明できないことを初めて実証しました。これらの成果は、今後、都市の地震防災や建物の耐震設計に大いに役立つと期待されます。

最後になりましたが、関連論文10編の作成では、諸先生方、諸先輩方には、貴重なご指導を賜り、また、共著の方々には、多くのご協力をいただきました。応募時には、3名の先生方には、推薦者となっていただき、また、当時在籍した（独）建築研究所の事務方には、書類作成のアドバイスをいただきました。多くの方々との関わりの中で、様々なご助力をいただきながら、今まで蓄積してきた成果が評価され、今回の賞をいただくことができました。他に代え難い喜びを覚えますとともに、多大な感謝をもって、記して厚く、御礼申し上げます。

（原稿受理 2010.4.30）

海野寿康会員「平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞」を受賞

海野寿康（五洋建設株式会社 技術研究所）会員が、平成22年度文部科学大臣表彰「若手科学賞」を受賞しました。

受賞対象業績は「震動を受ける不飽和砂質土の動力学挙動に関する研究」で、これまで液状化が生じにくいとされてきた不飽和土に対する動力学挙動を実験的・理論的に研究した一連の成果に対するものです。不飽和砂質土の動力学挙動を三相系の材料として世界に先駆けて実験的に研究した点に斬新性があります。これらの研究は、

不飽和地盤の地震時挙動が問題となる谷埋め盛土や火山灰質砂質土の切土や盛土の地震時安定性の解明に対して寄与する事が期待できる点が評価されました。

授賞式は、平成22年4月13日に京王プラザホテルにおいて行われました。本人の弁によれば、賞状とメダルを頂いたことを励みに、家庭を大事にしつつ、研究や技術開発に邁進することです。

（文責：風間基樹 東北大学教授）

（原稿受理 2010.4.21）